

自主防災ニュース Vol.8

今回は大地震などで避難しなければいけない時にペットをどうしたらいいか？という問題についてです。枚方校区自主防災会では以前からペットの扱いについて話し合っています。現時点での避難所におけるペットの扱いについてご説明します。



大地震が起こって家族みんなで避難所に避難！ その時ペットはどうする？

まず、青少年センターですが、ペットの受け入れは一切不可です。

枚方小学校も基本的にはペットと一緒に避難をすることはできません。

ペットは自宅に置いてきていただき、飼い主が毎日世話をしに家に通う、というのが原則です。



ただし、地震で家が半壊や全壊した場合、水害などで家に入れず、どうしてもペットを家に置いておけないなど、やむを得ない事情がある場合に限り、枚方小学校で受け入れることも可能です。その際はプールの更衣室付近（敷地の南端）のグラウンドにブルーシートで簡易的な雨除けを作ってケージを置いていただくことになります。

避難所ではあくまで人が優先となります。

動物アレルギーがある方もいらっしゃいますし、においや鳴き声が迷惑になってしまう可能性もあります。学校はできるだけ速やかに授業を再開しなければならないので、教室にペットを入れることはできません。予めご了承ください。



家族の一員であるペットのために普段から備えておくべきことは？

では、大切なペットのために何を準備しておけばいいでしょうか。

- ① ケージに入ることを嫌がらないように普段から慣らしておく。
- ② 他の人や動物に接してもむだ吠えしないように社会性を身につけさせておく。
- ③ トイレシートなど、決まった場所で排泄できるように訓練しておく。
- ④ 災害時にはペットもストレスで免疫力が落ち、感染症にかかりやすくなります。フィラリアや狂犬病など、感染症予防のワクチンを受けておきましょう。
- ⑤ 避難所にはペットのための備蓄品はありません。ペットフード、水、トイレシートなど、ペットのための備蓄を忘れずに！
- ⑥ 親戚や友人宅など、一時的にペットを預かってくれる場所を確保しておく。
- ⑦ ペットとはぐれてしまった時のために、身元がわかる首輪や迷子札、マイクロチップなどをつけておく。（マイクロチップの埋め込み費用は数千円程度です）



☆ 災害時のペットの扱いについて、環境省のホームページもご参照ください。

「ペットも守ろう！ 防災対策」というパンフレットがダウンロードできます。

